

清水正雄様のご靈前に、慎んで弔辞を述べさせて頂きます。今日ここにこのような形で、清水先生とお別れをする事になるとは思つてもおりませんでした。

顧みますれば、明石町に斎場建設の問題が起きました時に、当時町会長の太田忠児様と副会長の清水様が、明石町の皆様との反対運動によつて、斎場の建設は中止となり、その場所に明石町区民館が開館されます。

平成元年一月に太田様と清水様は明石町区民館一階に郷土資料室を立ち上げられました。清水様はその資料収集のため、築地居留地に創立された明治学院、青山学院、立教学院、女子学院、双葉、暁星、工学院、など十三の学校を訪れ、創立期の資料の収集に努められました。中央区の郷土史研究に残されたその足跡は、誠に偉大なものがございました。現在その資料は郷土資料館や中央区の図書館に保管されております。

平成二年九月には築地居留地研究会を発足され、平成二十年にはNPO法人としての築地居留地研究会を立ち上げられ初代理事長に就任されました。以来私共会員の指導には、温かく、そして、熱心にあたつて下さいましたことはいつまでも忘れません。

先生はご著書も多く、「東京初めて物語」—銀座・築地・明石町」、「中央区初めて物語」、「東京築地居留地百話」、近代文化の原点「築地居留地」も四号まで発行されました。いずれのご著書も我々研究会員のバイブルとなつております。

平成二十二年には第三回居留地研究会全国大会を築地居留地研究会が主催し、聖路加看護大学にて開催され、大会会長として見事に全国に七つある居留地研究会をまとめあげられました。

三年前には第六回居留地研究会全国大会が築地居留地研究会の主催で聖路加看護大学にて開催されました。清水様はこの時には理事長は退かれており、代わ

つて私が理事長を仰せつかつておりましたが、陰で支えて下さったおかげで無事お役目を果たせましたがことは感謝に堪えません。車いすをお嬢様に押してもらい基調講演を聴きに来て下さった清水様のお姿は今でも忘れません。

全国の居留地研究会も年々研究が進み発展をしてきましたことは先生のお力によるものと深く感謝致すところです。

清水初代理事長の示された道を結束して進み、築地居留地研究会の更なる発展に尽くしてゆく覚悟でございます。生前賜りましたご指導に深い感謝を捧げて、お別れの言葉とさせていただきます。清水先生安らかにお眠りください。 さようなら。

平成二十八年三月十六日

NPO法人築地居留地研究会

理事長 水野雅生